授業科目	＊キャリア開発					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	倉富　史枝						
授業概要	授業では、個人のキャリア開発を、労働政策や福祉政策、企業の雇用システムとの関連においてとらえます。また、キャリアについての個人の意識がどのように社会的に形成されてきたかを学術的な視点による現状の制度の分析や歴史的背景を解説します。また、キャリア開発に必要な情報を読み解く力を身につけるために、多面的な見方について説明します。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	授業で得た知識を基に、自分と向き合い、現実と向き合って、自分の人生を選択する力をつける １．授業で得た知識を人に伝えることができる。 ２．メディアリテラシー、リーガルリテラシー、データリテラシーなど身の回り情報を読み解いて、自らのキャリア・デザインについて考えることができる。 ３．自分の望むキャリアにおける課題を把握し、その解決方法について主体的に考えることができる。
理想的レベル	１．授業で得た知識を正しく人に伝えることができる。 ２．メディアリテラシー、リーガルリテラシー、データリテラシーなど身の回り情報を読み解いて、自らのキャリア・デザインについて考え、人に解説することができる。 ３．自分の望むキャリアにおける課題を把握し、その解決方法について主体的に考え、社会的な行動にうつすことができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	60%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	40%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	EN10701J T010701J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
授業で示された資料を読み直し、自分のキャリアと関連付けて考える。	4

授業計画	
第１回	テーマ：キャリアを考えるということ（外部講師） 企業におけるキャリア開発の現状と自分自身が主体的にキャリアを考えることの意義をキャリアコンサルタントが解説する。
第２回	テーマ：女性のキャリア形成とジェンダーの視点

	ジェンダーの縛りの強い国である日本でのキャリア形成に、男性と異なったどのような課題があるかを考える。
第 3 回	テーマ：人間らしい働き方「ディーセントワーク」 ＩＬＯ第 156 条約が保障する家族的責任とハラスメントについて解説する。
第 4 回	テーマ：働くために知っておく労働法（外部講師） 過労死問題を通して労働問題・労働条件に関する知識を弁護士から学ぶ。家族を過労死で亡くされた方の体験談をうかがう
第 5 回	テーマ：「好き」の搾取　家事の経済的評価 女性の非正規雇用化の背景にある性別役割分業意識と家事の担い手の問題について解説する。
第 6 回	テーマ：デートＤＶとＤＶ デートＤＶを通して、「恋愛」におけるジェンダーの問題やメディアの影響を学び、互いに尊重し合う恋愛や結婚のあり方を考える。
第 7 回	テーマ：好きな人と性を語るために 性的自己決定権や女性の性的自立と避妊や妊娠について解説する。
第 8 回	テーマ：男性が子育てに関わる意義（外部講師） 父親としての体験談から、男性が子育てに主体的に関わることが家族にとって、社会にとってどのような意義があるかを考える。
第 9 回	テーマ：幸せな人生とお金の関係 経済的自立をするために必要な金額を把握し、賃金を得る重要性を理解する。日本の家族単位の福祉政策の課題と女性が自立できる働き方を考える。
第 10 回	テーマ：子育てへの社会的支援 育児介護休業制度、子育て支援制度の使い方、不妊治療、養子縁組・里親制度について解説する。
第 11 回	テーマ：介護責任とキャリア開発 介護責任を担う労働者が抱える現在の課題と、介護離職を避けるための両立支援策の整備状況を確認する。
第 12 回	テーマ：ダイバーシティ・マネジメント 企業におけるダイバーシティマネジメントの動向とワークライフバランスの取組みについて解説する。
第 13 回	テーマ：ロールモデルから学ぶ（外部講師） 三井住友銀行北九州支店のキャリア開発のロールモデルとなる女性の方から体験談を聴き、企業における働き方を考える。
第 14 回	テーマ：ライフデザインを考える（外部講師） 個別性を尊重したライフデザインをワークシートなどを使って具体的に考える。
第 15 回	テーマ：総括 講義の総括、まとめ
テキスト	適宜配布
参考図書・教材／データベース・	『キャリア開発論』 2016/9/10 武石 恵美子（著）

雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	各回授業においてテーマに即した課題を提出してもらい、次回授業において口頭にてフィードバックを伝えます。 最終回の授業でフィードバックを総括します。
学生へのメッセージ・コメント	中学の公民、高校の現代社会、政治経済、労働関連法、社会保障法、社会福制度など。家庭科で学んだライフサイクル論やライフコースなど。 自分の人生の主役は自分自身です。自分がどのような個性を持っているか、何が好きなのか、日頃の生活の中で確認していくことがこの授業以外の学習となります。自分の持つ可能性を大事にして、人生を選び取れる力を身につけてください。

＊キャリア開発